

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期上市町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

富山県中新川郡上市町

3 地域再生計画の区域

富山県中新川郡上市町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、近年減少傾向が続いており、昭和60（1985）年では24,100人であったのが、令和2（2020）年では19,351人となっている。住民基本台帳によると、令和7（2025）年では、18,354人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計では2060年に9,447人へと減少する見込みである。

年齢3区分別の人口では、年少人口（15歳未満人口）と生産年齢人口（15～64歳人口）が減少傾向にあり、老年人口（65歳以上人口）が増加傾向にある。平成7（1995）年には老年人口が年少人口を上回っており、令和2（2020）年では老年人口が7,199人、年少人口が1,852人となっている。生産年齢人口は減少傾向が続いており、令和2（2020）年では10,280人となっている。

年齢3区分別人口割合をみると、徐々に少子高齢化が進んでいる状況となっており、特に老年人口は、平成17（2005）年には24.8%であったのが、令和2（2020）年には37.2%と12.4ポイント増加している。

自然増減（出生児数と死亡者数との差）は、概ね減少傾向が続いており、特に平成17（2005）年以降は100人以上減少する傾向となっている。社会増減（転入者数と転出者数との差）は、平成28（2016）年以降概ね減少傾向が続いていたが、令和5（2023）年には転入超過となった。

5歳階級別の社会増減の推移をみると、10歳代後半から20歳代にかけての若年者の大幅な転出超過が継続している。また、「20～24歳→25～29歳」の区分をみると、平成22（2010）年から平成27（2015）年の期間は転入超過となっているが、平成17（2005）年から平成22（2010）年、平成27（2015）年から令和2（2020）年

の期間は、転出超過となっている。また、男女別にみると、全体的に女性の転出超過数が大きく、特に「15～19 歳→20～24 歳」の区分において転出超過が拡大する傾向となっている。

本町の人口は、依然として減少傾向が継続している。合計特殊出生率は 1.30～1.40 で推移するとともに高齢化率が高く、いずれも近隣自治体よりも厳しい状況である。また、進学・就職による転出超過、とりわけ若年女性の転出超過が拡大している。

本町ではこれらの課題に対して、これまで移住・定住政策や子育て支援政策に注力してきた。特に移住・定住政策については、令和 5（2023）年には転入超過を達成し、一定の成果が見られた。この成果を一過性のものにせず、移住・定住政策や子育て支援政策の更なる充実により、転出抑制や合計特殊出生率の上昇ができれば、人口は減少傾向にありながらも減少幅を緩やかにすることが可能である。

近年の人口の推移と将来の人口推計結果を踏まえた、これからの本町の総合戦略においては「人口構造」・「自然増減」・「社会増減」・「産業構造」の 4 つの視点が大切である。まず、「人口構造」の視点では、高齢者世帯や単身世帯が増加する中、多様な世帯構成への対応が重要である。次に「自然増減」と「社会増減」の視点では、出生率低迷による自然減と若年層の転出超過が続く中、子育て支援の更なる充実と、住宅支援や地元への愛着醸成が重要である。最後に「産業構造」の視点では、就職による都市部への転出が拡大する中、地元就職支援等の地域内雇用の創出が重要である。

具体的な事業は、以下の基本目標のもとで行う。

- ・基本目標 1 つながる上市
～幸せでわくわくのミライへ“つながる”子育て・教育～
- ・基本目標 2 にぎわう上市
～変化と継承へのチャレンジで“にぎわう”産業・基盤～
- ・基本目標 3 ささえあう上市
～守るべきものを守り、みんなで“ささえあう”安全・安心なくらし～

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	出生数	54人	91人	基本目標 1
イ	人口社会増減	△97人	±0人	基本目標 2
ウ	平均自立期間	男性78.3歳 女性79.4歳	男性80.0歳 女性82.0歳	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

上市町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア “つながる” 子育て・教育事業

イ “にぎわう” 産業・基盤事業

ウ “ささえあう” 安全・安心なくらし事業

② 事業の内容

ア “つながる” 子育て・教育事業

人口減少や少子化、核家族化といった状況が進行しているなか、子育て家庭の不安や負担感を軽減するため、こどもまんなか社会の理念のもと切れ目ない支援体制の整備をはじめ、保育環境の充実や地域全体で子どもを育てる機運の醸成、ICT の活用による学びの支援、郷土への愛着を育む教育など、子どもたちの健やかな成長とミライへつながる人づくりを総合的に推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ こども家庭センターの推進
- ・ 若年世帯の住宅取得支援
- ・ 子育て世帯向け「申請手続きのデジタル化・簡素化」推進事業
- ・ 義務教育学校の整備とそれに向けた特色ある教育の構築
- ・ 上市中学校部活動の地域展開 等

イ “にぎわう” 産業・基盤事業

人口が減少しても心豊かに過ごせる社会を目指し、地域資源を活用した魅力あるイベント開催とまちなか（中心市街地）のにぎわい創出や、情報発信による地元の魅力の認知向上、地域産業の担い手の誘致・育成、都市との交流を生む基盤整備など、上市町の特長を最大限に活かしながら、官民連携によるにぎわいと活力のあるまちづくりに向けた取組にチャレンジする事業。

【具体的な事業】

- ・ 地域おこし協力隊事業
- ・ 人口減少対策プロジェクト
- ・ 広報DX事業
- ・ 空き家の利活用推進
- ・ 移住・定住の支援 等

ウ “ささえあう” 安全・安心なくらし事業

町民一人ひとりが心豊かで充実した生活を実現できるよう、災害の不安を軽減する取組や、地域福祉の推進と健康づくり活動の支援、地域に欠かせない生活インフラの維持として、かみいち総合病院や上市高校に重点を置いた取組など、ささえあいで安全・安心な暮らしの環境づくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 健康づくりの推進
- ・ 感染症の予防
- ・ 廃校利活用プロジェクト
- ・ かみいち総合病院への医療器械購入支援

- ・コミュニティ・ホスピタル事業
 - ・上市高校生への町内事業所での職場見学、職業を知る会の実施 等
- ※ なお、詳細は第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

200,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者（上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会）による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに上市町ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで